

評価結果からの課題と平成26年度に向けた対応策(保護者)

	No.	課 題	対 応
評価項目より	1	家庭学習の習慣があまり身につけていない。	家庭学習については、各家庭での指導で習慣化されることが望ましいと考えます。そこで、各家庭でどのような内容をどれくらいの時間、学習したらよいかという情報を学校から発信します。また、宿題の出し方についても検討していきます。
	2	読書の習慣が身につけていない。	文章の読解力は、すべての教科学習に影響します。読書好きな子どもを育成するために、日課表や行事を見直したり環境を整えたりしていきます。「図書室だより」もお子さんと、ぜひご覧ください。
	3	将来の夢をもったり進路を考えたりしていません。	教育計画において、直接的に職業に関係する指導はほとんどありません。児童の発達段階を考えると、普段から生き生きと活動している大人を見せることが大切だと思います。校外学習や外部人材を通じて、頑張っている大人の姿を見せていきます。
	4	通学路及び地域の安全が確保されていない。	通学路については、市役所各課や教育委員会とも連携をとり、安全確保に努めていきます。保護者の皆様にも、引き続き、登下校時の見守りをお願いいたします。
いただいたご意見より	5	先生方には、もう少し休み時間の様子を注意深く見たり子どもの声に耳を傾けたりしてほしい。	日頃から表現力が苦手な子どももいます。こうした子どもたちの声にも、しっかりと耳を傾けていかなければならないと認識しています。日々の生活においてはもちろんのこと、定期的な教育相談アンケートを通して、子どもの気持ちを理解するように努めていきます。
	6	担任の先生には、子どもの弱点(勉強面・生活面)や長所によく気づいてくださり、助かりました。	ありがとうございます。甘んじることなく、これからも子どもに適切な指導・支援ができるように努めていきます。
	7	ホームページが毎日更新されているので、PTA広報誌はいらないのではないかと。	PTA広報誌の発行にあたっては担当の保護者の方々に、たいへんお世話になっています。ホームページについては、学校が、子どもたちの活躍している姿を見ていただくよう更新しています。しかし、PTA広報誌は、学校職員とはひと味違った切り口での内容を考えていただいています。広報誌はPTA連合協議会へのコンクールにも応募していますので、今後も継続していきたいと思っております。
	8	いつまでもアットホームな本一小であってほしい。	少人数の中で、子ども同士、子どもと教職員が家族のような雰囲気の中で学校生活を送っています。この雰囲気を残しつつ、時と場に応じた態度や言葉遣いを身に付けられるようしっかりと指導していきます。
	9	学級内で子どもたちから代表を選ぶとき、本人が立候補したかったのににもかかわらず、くじ引きで決めてしまうことがあるようです。子どもの意欲を大切にしてほしい。	対応策の項目5と同じですが、子どもの声にはしっかりと耳を傾けていきます。ただ、集団生活ですので、時には自分の意見が通らず我慢しなくてはならない場面もあります。よく子どもと対話しながら、活動させていきます。
	10	学校行事等について、早めに連絡がほしい。少人数でいろいろたいへんだと思うが、急な変更は難しい。	ご迷惑をおかけしました。年間行事計画に沿って、運営ができるよう努めて参ります。急な変更などがないよう努めますが、万が一ある場合は、スクールメールを活用しお知らせします。また、未登録の保護者の方は、登録をお願いします。
	11	スクールバスの時間の幅が広い。また、人数が多い。	スクールバスについては、運営委員の方々にご尽力いただいております。しかし、現在のように運行するのが、たいへん厳しい状況です。
	12	子どもたちが喜んでいる行事を見るのは親としても楽しみである。しかし、幼稚園と行事が重なっていることがある。うまく調整してほしい。	義務教育のくくりの中で、小学校や中学校の教職員は研修や会議の場で顔を合わすことが多く、その際に日程調整などを行っています。しかし、幼稚園とは行事調整をする機会が少なかったようです。可能な限り調整していきます。
	13	以前より先生方に相談しにくくなった。この学校の良さが失われたと感じる。	相談しにくい雰囲気を感じさせてしまい、すみませんでした。子どものよりよい成長のためには、保護者の方との連携が何より大切です。今後も、保護者の方との話し合いを通じて、子どもたちの指導にあたっていきます。



